

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	力学第二演習		
英文授業科目名			
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	越智 保雄		
居室	東4-424		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ochi@mce.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>必須項目。 力学は色々な物体の運動を理解するための重要な科目です。特に、機械工学系の学生にとっては材料力学、機械力学等の専門的な科目を理解して、実際の機械の運動を力学的に取り扱い、設計に適用するための基礎となります。力学第二演習は力学第二とともに失点系、剛体および弾性体の力学の演習問題を中心に様々な力学の問題に関する理解を身につけることを目的とします。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
力学第一、力学第一演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書は特に用いないが、毎回演習問題を配布する。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

取り扱う内容は、質点系の力学、剛体の力学および弾性体の力学である。

(1) 授業内容

第1回～第4回：質点系の力学

運動量保存則、重心の運動、質点系の運動エネルギー、衝突、質点系の角運動量等

第5回～第10回：剛体の力学

固定軸のある剛体の運動、剛体の慣性モーメント、剛体の平面運動、剛体の釣り合い等

第11回～第14回：弾性体の運動

弾性と塑性、応力、弾性係数等

第15回：期末試験

(2) 授業の進め方

毎回演習問題を配付して各自で問題を解き、その後は回答を示して自己採点をする。

そのため、必ず各自で解答用紙としてレポート用紙と電卓を持参すること。回答用紙は毎回提出させ、内容を確認して次回に返却する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

原則として、期末テストと出席授業態度で評価するが、毎回の演習評価も参考にして、次のように評価する。

成績評価：出席、授業態度、演習評価：30%

期末テスト：70%

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談を受けるが、電話、電子メール等で事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

力学第二、第二演習は力学第一とともに物理学の基礎として、また2年次以降の機械工学系の専門科目を理解する上での基礎として、大変重要な科目です。とにかく毎回毎回出席して、演習問題を解くことが力学を身につけるよう努力して下さい。

【その他】